

学校教育目標	「ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと 上山の子」 めざす子ども像「やってみよう つなげよう」～低学年:楽しむ 中学年:広げる 高学年:高める～ ○自ら課題を発見し、自分の考えをもって学び合い、課題解決を図ることで楽しく学べるようにします。(知) ○自分のよさを知り自信をもつとともに、互いの考え方や生き方を認め合い、支え合うことができるようにします。(徳) ○自他の生命を尊重し、心と体の健康を大切に考え、安全に生活する想像力からそれを高めることができるようにします。(体) ○自然の営みや優れた文化・様々な生き方に触れ、豊かな感性を育むようにします。(公) ○地域やより広い世界とかがわり合いながら、共に生きることのすばらしさを実感できるようにします。(開)					
	創立 43 周年	学校長	生中 信行	副校長	山本 慶子	2 学期制
学校概要	児童生徒数: 387 人 主な関係校: 中山中学校・中山小学校・森の台小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック 中山中学校 中山小学校 森の台小学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		○主体性をもって、課題を解決する子ども ○豊かなコミュニケーション力をもつ子ども ・教育活動の中に人との豊かなかがわりを積極的に入れ込んでいく。 ・挨拶運動や花いっぱい活動、ボランティア清掃などへの児童の参加を一層進めていく。 ・授業研究会への参加を他校へも呼びかけ、本校の児童の様子を他校と共有しておく。 ・地域行事への積極的な参加を勧める。
<主体的に考えようとする態度> <共生的な考え方・判断> <課題発見力・共生的な課題解決力>		

中期取組目標	学校教育目標実現のため、めざす子ども像「やってみよう つなげよう」～低学年:楽しむ 中学年:広げる 高学年:高める～の具現化を図ります。 ・子どもが互いを尊重し、温かさをもってかがわり合い誰とでも共生できる能力の育成とともに、児童指導・児童理解の充実を図ります。 ・子どもの主体的意識を育て、課題を発見し、課題を解決していく学び方を全教科・教育課程で進めます。 ・子どもの成長のため、家庭・地域、小中一貫教育推進ブロック4校・他機関と連携を深めます。 ・「めざす子ども像」実現のため、教師自身が主体的で、互いを理解し支え合い、課題を発見し、課題を共に解決していくことを教師自らが目指します。 ・研究を深めてきた体育科学の学び方を他教科でも生かせることを実証し、主体的・対話的な深い学びから資質・能力を育成し、思考力・判断力・表現力を醸成することで自尊感情を高めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 研究部	【主体的・対話的で深い学びを通して、課題発見・課題解決能力を育成します】①子どもが主体的に課題を発見し、課題解決に取り組もうとする学び方から「生きる力」を高める授業をつくります。②重点研の研究主題「授業のつながりで生かす 学び方の構造化」を目指し、研究を深めてきた体育学習の学び方を算数科学習に生かし、教科横断的な学び方を生かします。教科を越えた学び方の構造化に挑み、実践データを積み重ねて具現化を図ります。
豊かな心 担当 児童安全部	【一人ひとりが居場所をもって生活できる学校をつくります】①教科学習、豊かな体験活動、教育活動から生き方・考え方・とらえ方を見つめなおし自ら正しい判断ができる主体性をもった子どもを育てます。②たてわり活動や異学年交流、地域とのかがわり合いを通して、信頼関係の構築をできる力を育みます。③なかよし委員会が中心となり、全校集会、全校遠足、たてわり活動を行います。
健やかな体 担当 研究部・体育部	【健康な生活習慣を身につけ、健やかな心と体を育みます】①体力向上と健康な心の育成のために、長縄と自由外遊びを継続的に取り組みます。②年2回の学校保健委員会で生活習慣や健康に関するテーマについて取り上げ、健康な生活習慣の日常化に取り組みます。
児童理解 担当 児童安全部	【家庭・地域と連携を図りながら、児童理解を推進します】①家庭訪問、個人面談、懇談会などで、児童の様子や情報を共有することで、児童実態理解・保護者の願いを確認し、子どもの心の育成に繋がる関わりにつなげ、指導に生かします。②情報共有を密にし、児童理解に生かします。
特別支援教育 担当 児童安全部・特別支援部	【児童一人ひとりの実態に合った特別支援体制を整えます】①児童指導部や職員会議等で共有された児童情報を全職員で共有し、一般級と個別支援級との効果的な教育的連携の充実を図ります。②個に合わせた支援を行うため、「個別的教育支援計画」等を作成し支援や指導を行います。
地域連携 担当 運営部	【地域の一員としての子どもを育てます】①地域行事に参加し、フェイストゥフェイスを大切に心通わす信頼関係づくりをチーム上山(全職員)で進めます。連携を図ることで、②信頼される学校運営を進めます。
安全管理・安全教育 担当 児童安全部	【子どもが自ら考えて避難できるよう指導を積み重ねるとともに、安全管理体制を整えます】実践的な避難訓練を行い、避難訓練を振り返り、それを生かした避難訓練を行います。他機関とも連携し、教職員の安全管理体制を充実させます。
自尊感情を育む 担当 研究部	【子どもの自尊感情を育むため共通体験・感情共有の機会を大切にします】 日常の授業から、共通体験、感情共有の機会を大切にし、互いの感じ方・考え方を共有することで自尊感情を意識的に高めていきます。めざす子ども像の「やってみよう(主体性)」を育て、自信につなげていきます。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	【いじめを早期発見し、大きくしないよう迅速に組織的に対応します】子ども同士のかがり方、心通わす関係のつくり方を授業・学校生活全体を通じて育み、豊かなかがわりができる力を身につけることを通じて、規範意識を高めます。児童アンケートを活用して分析し、指導に生かします。コンサルテーションを進めます。いじめ防止対策委員会を開き、児童情報の共有化を日常的に行います。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部	【教職員が誇りをもって働き、効率的で温かく支え合うチーム作りを推進し、人材育成・組織運営・働き方改革を進めます】3ブロック制から、児童情報を常に共有し、チームで児童理解・児童指導・保護者対応にあたります。3部会制から効率的な学校運営・事務分掌推進を行い、働き方改革につなげます。効率的な会議、無理無駄を省き、授業準備・児童対応に当たる時間を確保します。健康的で働きやすい職場環境づくりをめざし、支え合いや目的意識をもった優先順位がもちやすい学校としての目標を掲げます。